

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道55号 (阿南安芸自動車道)	安芸道路	L=5.8km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
6,700~9,600	2	四国地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成23年度		
単純合計	233億円	26億円	259億円
基準年における 現在価値(C)	170億円	8億円	177億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成23年度			
供用年	平成34年度			
単年便益 (初年便益)	17億円	1.4億円	1.1億円	19億円
基準年における 現在価値(B)	215億円	18億円	14億円	247億円

## ③ 結果

費用便益比(事業全体)	1.4
経済的純現在価値(事業全体)	69億円
経済的内部収益率(事業全体)	6.0%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## ④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	6,700~9,600	±10%	1.2~1.6
事業費	233億円	±10%	1.3~1.5
事業期間	10年	±20%	1.3~1.5

# 交通状況の変化

様式-3①

## 事業名：安芸道路

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 安芸道路 : 5.8km	交通量	[台/日]		8,100	
	走行時間	[分]		5	
	走行時間費用	[億円/年]		7.27	
②主な周辺道路	一般国道 55号 : 4.7km	交通量	[台/日]	10,700	4,600
		走行時間	[分]	13	8
		走行時間費用	[億円/年]	27.25	6.25
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計：32.2km	走行時間費用	[億円/年]	14.04	11.94	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：42.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	41.29	25.46	15.83

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



## 費用便益分析の条件

事業名：安芸道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成23年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ( )台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である <input type="checkbox"/> 山間部海岸部で併行道路が少ない <input type="checkbox"/> その他( )
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載	配分交通量に対する平均的な速度として、 QV式から速度を算出した。 その他( )

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		( ) %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ( )	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				



## 費用の現在価値算定表

箇所名：安芸道路

維持管理費の単純単価の算出

年次	年度	割引率 (基準年：H23)	GDP デフレーター	事業費 (億円)		維持管理費 (億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				単価 (億円) 0.09	延長 (km) 5.8	単純単価 (億円) 0.52	
-10年目	H 24	0.9615	90.0	0.95	0.92		
-9年目	H 25	0.9246	90.0	1.90	1.76		
-8年目	H 26	0.8890	90.0	2.86	2.54		
-7年目	H 27	0.8548	90.0	4.76	4.07		
-6年目	H 28	0.8219	90.0	14.29	11.74		
-5年目	H 29	0.7903	90.0	28.57	22.58		
-4年目	H 30	0.7599	90.0	38.10	28.95		
-3年目	H 31	0.7307	90.0	47.62	34.80		
-2年目	H 32	0.7026	90.0	57.14	40.15		
-1年目	H 33	0.6756	90.0	37.14	25.09		
供用開始年次	H 34	0.6496	90.0			0.52	0.34
1年目	H 35	0.6246	90.0			0.52	0.33
2年目	H 36	0.6006	90.0			0.52	0.31
3年目	H 37	0.5775	90.0			0.52	0.30
4年目	H 38	0.5553	90.0			0.52	0.29
5年目	H 39	0.5339	90.0			0.52	0.28
6年目	H 40	0.5134	90.0			0.52	0.27
7年目	H 41	0.4936	90.0			0.52	0.26
8年目	H 42	0.4746	90.0			0.52	0.25
9年目	H 43	0.4564	90.0			0.52	0.24
10年目	H 44	0.4388	90.0			0.52	0.23
11年目	H 45	0.4220	90.0			0.52	0.22
12年目	H 46	0.4057	90.0			0.52	0.21
13年目	H 47	0.3901	90.0			0.52	0.20
14年目	H 48	0.3751	90.0			0.52	0.20
15年目	H 49	0.3607	90.0			0.52	0.19
16年目	H 50	0.3468	90.0			0.52	0.18
17年目	H 51	0.3335	90.0			0.52	0.17
18年目	H 52	0.3207	90.0			0.52	0.17
19年目	H 53	0.3083	90.0			0.52	0.16
20年目	H 54	0.2965	90.0			0.52	0.15
21年目	H 55	0.2851	90.0			0.52	0.15
22年目	H 56	0.2741	90.0			0.52	0.14
23年目	H 57	0.2636	90.0			0.52	0.14
24年目	H 58	0.2534	90.0			0.52	0.13
25年目	H 59	0.2437	90.0			0.52	0.13
26年目	H 60	0.2343	90.0			0.52	0.12
27年目	H 61	0.2253	90.0			0.52	0.12
28年目	H 62	0.2166	90.0			0.52	0.11
29年目	H 63	0.2083	90.0			0.52	0.11
30年目	H 64	0.2003	90.0			0.52	0.10
31年目	H 65	0.1926	90.0			0.52	0.10
32年目	H 66	0.1852	90.0			0.52	0.10
33年目	H 67	0.1780	90.0			0.52	0.09
34年目	H 68	0.1712	90.0			0.52	0.09
35年目	H 69	0.1646	90.0			0.52	0.09
36年目	H 70	0.1583	90.0			0.52	0.08
37年目	H 71	0.1522	90.0			0.52	0.08
38年目	H 72	0.1463	90.0			0.52	0.08
39年目	H 73	0.1407	90.0			0.52	0.07
40年目	H 74	0.1353	90.0			0.52	0.07
41年目	H 75	0.1301	90.0			0.52	0.07
42年目	H 76	0.1251	90.0			0.52	0.07
43年目	H 77	0.1203	90.0			0.52	0.06
44年目	H 78	0.1157	90.0			0.52	0.06
45年目	H 79	0.1112	90.0			0.52	0.06
46年目	H 80	0.1069	90.0			0.52	0.06
47年目	H 81	0.1028	90.0			0.52	0.05
48年目	H 82	0.0989	90.0			0.52	0.05
49年目	H 83	0.0951	90.0	-29.98	-2.85	0.52	0.05
合計				203.35	169.75	26.10	7.58
単純事業費計				233.33		26.10	

- 注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画の値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)
- 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

